

知識×臨床



脳外臨床

基礎

—
001

▼ 遂行機能障害の脳画像の見方

症状が起こる原因と脳から考えるリハビリ

2026年9月4日 20:00~

BRAIN

NEUROIMAGING

そのリハビリ、脳画像と一致している？
臨床でしか使えない脳画像の見方

皆さんの遂行機能はどう？

そもそも遂行機能とは？

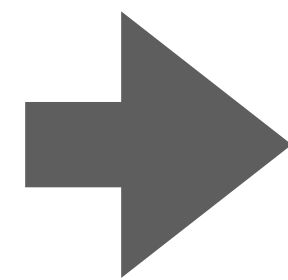
医学・神経心理学的には、実は「遂行機能とはこれ」と完全に統一された一つの定義があるわけではない
遂行機能障害とは**目標を設定し**、その目標を達成するために行動を
計画・開始・調整・監視・修正していく能力が障害された状態

遂行機能をシンプルにいうと

「目的を達成するために、自分の行動をコントロールする機能」

トイレに行く

- 何をすればいいか考える：目的
- 行動を始める：計画
- 順番に進める：開始
- 状況が変わればやり方を変える：調整
- 「ちゃんとできているか？」を確認する：監視
- 間違っていれば修正する：修正
- 終了する



この一連を目的に向けてまとめ上げる働きが遂行機能です。
「遂行機能＝計画能力」と説明すると少し狭すぎ

注意＝情報処理の能力である

なぜ注意を疑うのか？

高次脳と注意のポジション

自己認識

→病識欠如

行動すら起こらない場合は？

→これも注意障害？

遂行機能

→遂行機能障害

記憶力

→記憶障害

情報処理

→受信・発信ができない（情報の把握一、断片的表現）

注意力・集中力

→集中力の持続が困難

発動性・抑制

→無気力・脱抑制(心のコントロールができない)

精神的・心的エネルギー

→覚醒してられない状態

神経心理学ピラミッド

そもそも遂行機能とは？

医学・神経心理学的には、実は「遂行機能とはこれ」と完全に統一された一つの定義があるわけではない
遂行機能障害とは**目標を設定し**、その目標を達成するために行動を
計画・開始・調整・監視・修正していく能力が障害された状態

遂行機能をシンプルにいうと

「目的を達成するために、自分の行動をコントロールする機能」

トイレに行く

→ **何をすればいいか考える：目的**

→ 行動を始める：計画

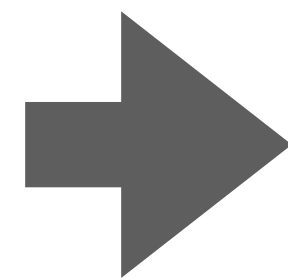
→ 順番に進める：開始

→ 状況が変わればやり方を変える：調整

→ 「ちゃんとできているか？」を確認する：監視

→ 間違っていれば修正する：修正

→ 終了する



この一連を目的に向けてまとめ上げる働きが遂行機能です。
「遂行機能＝計画能力」と説明すると少し狭すぎ

トイレに行きたい。お茶を入れよう。ご飯買いに行こう。

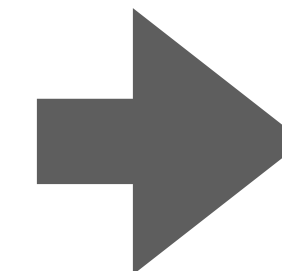
どうやって目標って立てるの？

「目標とは、今、何を優先して目指すのか？を決めるプロセス」

②目指す状態を描く



③現状と目指す状態に
ギャップがあることに気づく



目標が生まれる

①現状を知る



目標

トイレに行くという目的をもつ

「これから何をするのか」という目的を持ち、それを保つこと。

目標・目的を持つ

現状の把握

(頭頂葉＋島皮質＋前頭前野)

＋

「これからどうあるべきか」を作る

(前頭前野＋記憶)

＋

「現在」と「目指す状態」に差がある

(前部帯状皮質を含む内側前頭系)

=

「今、何を優先して目指すのか」

目標・目的を保つ

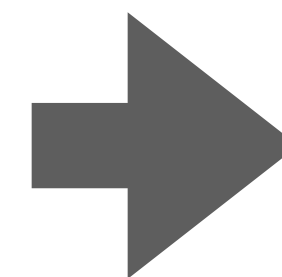
決めただけではダメ。

「トイレに行く」

という目標を、

行動が終わるまで行動制御に
使える状態に保つ必要がある。

背外側前頭前野



#

